

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023. 4. 13 - 第 17 号 - 連合北海道 春季生活闘争本部

2023 年春季生活闘争 第 4 回回答集計結果について

連合本部は、2023 年春季生活闘争につき、4 月 11 日（火）10 時の時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した4,468 組合中2,885 組合が妥結済みで、うち賃金改善分を獲得した組合は1,730 組合（60.0%）となっており、依然高い水準を維持している。
- 平均賃金方式で回答を引き出した3,066 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で11,022 円・3.69%（昨年同時期比4,765 円増・1.58 ポイント増）、うち300 人未満の中小組合1,975 組合は8,456 円・3.39%（同3,362 円増・1.33ポイント増）となった。いずれも、比較可能な2013 闘争以降で最も高い。また、前回集計（4 月5 日公表）以降582 組合（うち中小組合447 組合）が新たに回答を引き出したが、額・率とも水準を保っている。
賃上げ分が明確に分かる2,180 組合の「賃上げ分」は6,086 円・2.11%、うち中小組合1,241 組合は5,246 円・2.07%となった。額・率とも第4 回回答集計時点では賃上げ分の集計を開始した2015 闘争以降で最も高い。
新たに回答を引き出した組合の8 割近くを中小組合が占めるが、依然「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。組合員の生活安定や「人への投資」と月例賃金にこだわった粘り強い交渉を行った成果と受け止める。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給56.65 円（同31.93 円増）・月給8,864 円（同3,814 円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ5.36%・3.96%となり、引き続き一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

連合北海道は、4 月 11 日（火）10 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 集計可能な回答を引き出した組合は 103 組合（昨年同時期比 36 組合増）、人数は 35,602 人（同 7,734 人増）で、300 人未満の中小組合における早期妥結が増加組合の大半を占めた。
- 月例賃金の加重平均は、8,758 円・3.29%（同 3,287 円増・1.24 ポイント増）となった。
- ベースアップ分が明確にわかる組合は 75 組合、全体では 4,679 円（同 3,240 円増）であったが、うち 300 人未満の中小 52 組合では 5,092 円（同 3,051 円増）となり、300 人以上の組合の 4,589 円（同 3,259 円増）および全体集計を上回った。
- 有期・短時間等労働者の賃上げ額は、加重平均で時給 45.97 円の引き上げ、率にして 4.59%、平均時給は 1,033.31 円となっている。

【組合規模別賃上げ状況 2023 年 4 月 11 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99 人	48	2,141 人	7,001 円(3.27%)	3,931 円(1.73%)	3,070 円(1.54%)
100～299 人	29	5,295 人	7,668 円(3.41%)	4,461 円(1.99%)	3,207 円(1.42%)
300 人未満計	77	7,436 人	7,460 円(3.37%)	4,340 円(1.94%)	3,120 円(1.43%)
300～999 人	20	10,016 人	9,582 円(3.46%)	4,556 円(1.84%)	5,026 円(1.62%)
1,000 人～	6	18,150 人	8,867 円(3.20%)	6,261 円(2.15%)	2,606 円(1.05%)
300 人以上計	26	28,166 人	9,077 円(3.27%)	5,736 円(2.07%)	3,341 円(1.20%)
計	103	35,602 人	8,758 円(3.29%)	5,471 円(2.05%)	3,287 円(1.24%)